

【取組内容】



カンボジアにおいて学校374棟、トイレ293棟、井戸・給水タンク152基の設置を支援。総受益者数は**10万人超**。
カンボジア教育省と協力し、小学校芸術教科の教科書/指導書等の教材開発、**1976名以上の芸術分野の教員を育成**。
読み書き計算ができない農村部の成人を対象に、識字クラスを開講。自ら学ぶことで教育の重要性を体得し、子ども達の教育のサポートはもちろん、スキル取得による生活の質の向上等の連鎖も生み出し、**373名の識字者を輩出**。

【評価のポイント】

普遍性	施設の建設と衛生教育を併せて行い、次世代の教育システムを整えるために指導者を育成、実際に講師として講習を行い結果を出している点においてロールモデルとなり得る事業であるといえる。
包摂性	より多くの子どもたちに教育の機会を提供できるよう、調査を元に必要な施設を建設。成人向け識字教育により、多くの女性の生活水準向上に寄与。
参画型	現地の教育省や教員養成大学教員を巻き込み研修体制を作ることで、将来的に自走できる普及システムを構築。
統合性	経済(施設の建設)、社会(教育支援及び教員の育成)、環境(衛生指導を通じた居住地域の環境改善)の三側面を含んでいる。
透明性と説明責任	事業状況や活動内容の評価を冊子やホームページ等を通じて定期的に公表。メールマガジンやSNSを通じた情報発信も積極的に行う。
変革性	特に教員・教材が不足している芸術教育において、教材開発や指導者育成を支援し、子どもたちの可能性や能力を伸ばす変革を促している。
連帯性と行動変容	「物」を提供することだけでなく「自立発展」を支援する「教育力」の修得機会を提供することで継続的な行動変容へと繋げている。

